

都市計画・まちづくり

■ 9月29日：「女川復興まちづくり着工式」開催！

女川町被災市街地復興土地区画整理事業の工事着手にあたり、着工式が開催されました。これは、津波被災地における土地区画整理事業の中で最も早い着工となります。式典では、平野復興大臣や安住財務大臣、三浦副知事など多数の関係者出席の中、須田女川町長から復興に向けた熱い決意が述べられました。今後、荒立や陸上競技場跡地地区で先行して、宅地の造成工事が行われる予定です。



着工式の様子

■ 10月23日：「第3回みやぎ復興住宅整備推進会議」開催！

3回目の開催となった今回は、復興に向けた住宅・まちづくりに関連するテーマとして、再生可能エネルギーの取り組み等について関係機関で情報交換を行いました。

(先進的で魅力あるみやぎの住宅・まちづくりに関する情報は URL をご参照下さい http://www.pref.miyagi.jp/fukujuu/miyagisuishin_gai3.htm)



橋本土木部長挨拶(県庁特別会議室にて)

■ 10月25日：「東松島市復興まちづくり整備事業着工式」開催！

「野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業」の工事着手が、市の復興まちづくり整備の最初となることから、早期復興を祈念して着工式が開催されました。郡復興大臣政務官や多数の市民、関係者が出席する中、阿部東松島市長と小野保育所の児童が、高らかに工事着手を宣言しました。この着手を皮切りに東矢本駅北地区の区画整理事業や7地区の防災集団移転事業が展開される予定です。



着工宣言

■ 11月4日：「石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業安全祈願祭・起工式」開催！

「新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業」の工事着手にあたり、市の本格的な復興まちづくり整備の最初となることから、早期復興を祈念して起工式が開催されました。式典は、郡復興大臣政務官や三浦副知事ら多数の関係者、市民が出席し、盛大に執り行われました。新蛇田地区は、市内最大となる46.5haを、甚大な住宅被害を受けた沿岸地域からの集団移転先として整備する予定です。



鑑入れの様子

見える復興・見せる復興

■ 10月23日：県庁18階 宮城広報展示室にて復旧・復興パネル展常設開始！

「見える復興・見せる復興」とは、震災から復興へ向けた歩みの「今」を、日ごろより御支援を頂いている全国の皆様、関係機関の皆様へ随時情報を発信し、震災を風化させないための取り組みです。その一環として、復旧・復興パネル展を各所で開催してまいりましたが、この度県庁18階宮城広報展示室にて、常設することになりました。是非足を運び下さい！

また、三陸縦貫自動車道仙台松島道路の春日パーキングエリア(上り線)でのパネル展も好評展示中です。



宮城広報展示室

春日PA(上り線)

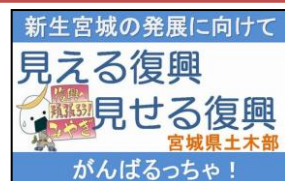
★ 11月の土木イベント情報！地域の皆様のご参加をお待ちしております！

■ 11月14日 13:00~14:00 「気仙沼港 災害復旧工事着工式」を開催します！

気仙沼港湾朝日ふ頭荷捌き地内にて、鋼管矢板打設作業等のデモンストレーションを行う予定です。

■ 11月16日 11:00~16:30 迫川河川改修80周年記念イベント～過去から未来へ人と人、地域と地域を紡ぐ迫川～を栗原市若柳総合文化センターにて開催します！

迫川の洪水や治水対策の歴史や魅力、今後の河川管理のあり方について地域の皆様方と情報を共有します。



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/dobokusom/>

T E L : 022-211-3108 E-mail: dobokgk1@pref.miyagi.jp

(H24.11.8 作成)

宮城県土木部復興だより【第5号】

復旧・復興の最新ニュースをお届けします！

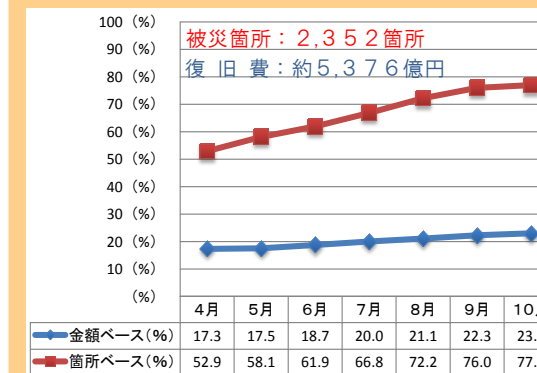
<平成24年11月8日現在>

全体・防災

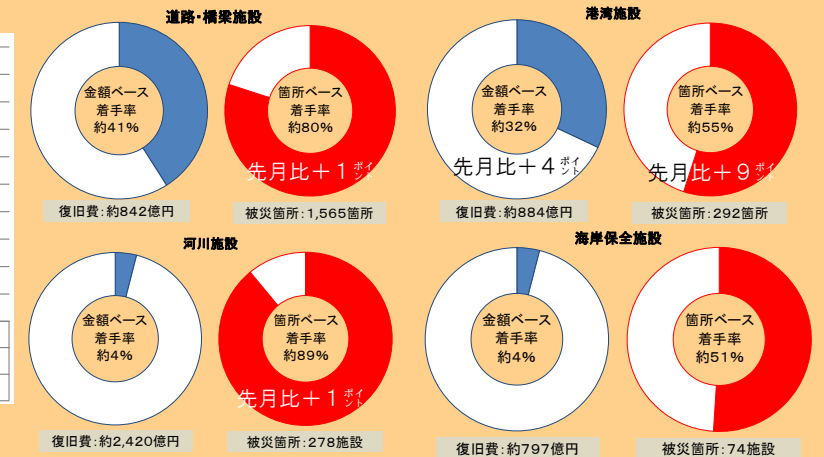
■ 災害復旧事業と「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」の進捗状況(10月末現在)

○ 公共土木施設の災害復旧事業

公共土木施設の着手率は金額ベースで約23% (前月比+約1割) 箇所ベースで約77% (前月比+約1割) となりました。河川・海岸、港湾についても、これから本復旧工事に着手する予定で、着工式等のイベントが開催される予定です。



応急工事、本工事に着手した箇所の割合を箇所ベースの着手率、予定工事費に対する割合を金額ベースの着手率としています。



※先月に対して変化がある場合に限り先月比を示しています

○ 「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」

土木部の最重点項目である「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築の推進」について、津波対策・復興まちづくり事業・復興住宅の整備について市町単位での進捗状況を毎月公表することとしています。

【津波対策】

海岸災害復旧事業については、応急復旧を含む工事着手数が先月末から1箇所増の合計49箇所となっています。

【復興まちづくり事業】
防災集団移転促進事業の事業計画同意済み地区は、先月末に対して30地区増の合計145地区となっています。

【復興住宅】

災害公営住宅については、整備計画戸数15,000戸のうち、現時点で、16市町の38地区、2,777戸の整備に着手し、先月末の事業着手数より118戸の増加となりました。

土木部最重点項目 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築の推進

市町名	土木部所管 河川災害復旧事業		土木部所管海岸(建設・維持)災害復旧事業		防災集団移転促進事業		土地区画整理事業		復興住宅の整備	
	計画	進捗	計画	進捗	計画	進捗	計画	進捗	計画	進捗
宮城県	42	38 90.5%	126	49 38.9%	185	145 78.4%	30	9 30.0%	15,000	2,777 18.5%
仙台市	7	7 100.0%	27	12 44.4%	47	23 48.9%	3	2 66.7%	2,200	160 7.3%
南三陸町	10	8 80.0%	6	4 66.7%	26	23 88.5%	1	1 100.0%	1,000	84 8.4%
石巻市	8	7 87.5%	22	13 59.1%	50	44 88.0%	11	2 18.2%	(4,000)	340 8.5%
女川町	1	1 100.0%	6	2 33.3%	21	21 100.0%	1	1 100.0%	715	200 28.0%
東松島市	4	4 100.0%	7	5 71.4%	7	7 100.0%	5	2 40.0%	860	41 4.8%
松島町	1	0 0.0%	11	0 0.0%					40	0.0%
利府町									(20)	0.0%
塩竈市			22	3 13.6%	2	2 100.0%	2	0 0.0%	300	71 23.7%
七ヶ浜町			17	3 17.6%	5	3 60.0%	4	0 0.0%	250	104 41.6%
多賀城市	1	1 100.0%					1	0 0.0%	361	160 44.3%
仙台市	2	2 100.0%	3	2 66.7%	15	13 86.7%	1	0 0.0%	3,000	1067 35.6%
名取市	3	3 100.0%	1	1 100.0%	1	1 100.0%	1	1 100.0%	(1,000)	0.0%
岩沼市	3	3 100.0%	2	2 100.0%	2	2 100.0%			224	224 100.0%
亶理町					6	6 100.0%			400	100 25.0%
山元町	2	2 100.0%	2	2 100.0%	3	0 0.0%			600	90 15.0%
町の輪市町(第1)									335	136 40.6%
合計	42	38 90.5%	126	49 38.9%	185	145 78.4%	30	9 30.0%	15,000	2,777 18.5%

(詳しくは URL を参照願います。 http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk_taiou/miyagimodel/index.htm#nt)

港湾

■ 10月17日：「女川湾口防波堤災害復旧工事着工式」開催！



女川湾口防波堤は、震災により施設の全てが破壊されましたが、この度、施設の災害復旧工事に着手することになりました。女川町中心部の津波被害の軽減など、女川町の復興まちづくりに大きく貢献するものと期待しています。

工事着手！

■ 10月17日：仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化！

三港の港湾区域の統合により、新たな国際拠点港湾「仙台塩釜港」がスタートしました。統合港湾では、各港区の機能・役割を最大限に活用した港湾運営と効率的・効果的な整備を推進するとともに、東北唯一の国際拠点港湾のブランド力を活かしたポートセールスを強化し産業競争力の向上や観光振興、そして被災地の早期復興が図られる様取り組んで参ります。

<国際拠点港湾 仙台塩釜港のビジョンと各港区の役割>

	仙台港区	塩釜港区	松島港区	石巻港区
ビジョン	東北のグローバル港湾	地域産業支援港湾	東北を代表する観光港	広域基幹産業拠点港湾
役割分担	東北のユニット物流の拠点	小型バルク貨物の拠点	東北観光の玄関口	大型バルク貨物の拠点



▲橋本土木部長は山縣港湾局長から『仙台塩釜港港湾区域変更同意書』を受け取りました(10月18日)

(詳しくは URL を参照願います。
<http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/ittaika/ittaika.pdf>)

空港

■ 10月13日、14日：「ソラ行け旅フェスタ」を開催！

仙台空港から出発する「旅」を紹介するトラベルフェスティバル「ソラ行け旅フェスタ～TRAVEL FESTA 2012 in SENDAI～」が開催されました。会場の仙台市内一番町商店街には、たくさんのお客様が来場され、世界各国や航空会社、旅行会社によるブース出店や、民俗芸能やダンスショーなどのステージイベントで大変な賑わいとなりました。



仙台市内一番町商店街の様子

■ 11月6日：「仙台塩釜港・塩釜港区 災害復旧工事推進式」開催！

仙台塩釜港塩釜港区は、震災直後の懸命な啓開作業などにより、発災後9日目には石油タンカーを受け入れ、県内の燃料危機脱出に大きく貢献しました。震災直後から重要な役割を果たしてきた本港湾の復旧については、昨年度の応急工事に続き、今年度から本復旧工事に着手しております。この度、安全な工事の推進と港湾の利用促進を祈念して推進式を開催しました。



工事のデモンストレーションとしてブルドーザーで砕石を均しました

河川・海岸

■ 10月17日：「定川河川災害復旧工事着工式」開催！

石巻市・東松島市を流れる定川の堤防は、震災により壊滅的な被害を受けましたが、この度災害復旧工事に着手することになりました。津波による教訓を踏まえて設定した堤防高さは、左太夫橋区間～国道45号橋については TP2.9～3.3m、国道45号橋～河口までの区間は、TP4.5mになります。



(詳しくは URL を参照願います。
<http://www.pref.miyagi.jp/kasen/pdf/zyoukawayakkousiki.pdf>)

■ 11月1日：「弘川ダムのダム湖命名式及び試験湛水式」開催！

県内沿岸部は、震災に伴い、地盤沈下などの影響により洪水の危険性が高まっております。弘川ダム（南三陸町歌津）は総合的な治水対策の一環として効果を発揮するものです。本体工事については、平成21年3月に工事着手し、今年10月に完成したことから、試験湛水を行う運びとなりました。試験湛水とは、ダムの最高水位である洪水時最高水位まで貯水位を上昇下降させ、ダム堤体及び貯水池の安全性を確認するものです。平成25年5月には試験湛水が終了し、供用開始する予定です。



ダム湖の名称は「田東(たつがね)湖」に決定！



弘川ダム 試験湛水式及びダム湖命名式

(詳しくは URL を参照願います。
<http://www.pref.miyagi.jp/ks-doboku/dam/shikentansuishiki/shikentansuishiki.html>)

道路

■ 11月3日：三陸沿岸道路の「即年着工」起工式を開催！

三陸沿岸道路「歌津～本吉」は、新規事業区間において初めて工事着手したものであり、地元の協力と熱意、国・県・市町村の連携や官民連携（事業促進 PPP）の導入等により、新規事業化から1年を待たずして工事着手（即年着工）することとなりました。

県としては、三陸沿岸道路全線の早期供用が図られるよう、引き続き関係機関と連携を図りながら対応していきます。



(詳細は東北地方整備局道路部及び県道路課の URL を参照願います。
<http://www.thr.mlit.go.jp/road/fukkou/sanriku/>
<http://www.pref.miyagi.jp/road/douro.kikaku/120908ishinomakikita-ic/120908ishinomakikita-ic.html>)

■宮城県 地図

